

杏林

KYORIN DAIGAKU SHIMBUN

大学新聞

1~4面	医学部特集	7面	総合政策学部 学際演習 保健学部 作業療法学科の海外研修 在学生紹介 外国語学部 渡辺紗由さん
5面	卒業生リレー 埼玉県警察本部科学捜査研究所 山本靖久さん(保健学部卒業)	8面	連載 金田一教授の研究室から 健康ひとくちメモ
6面	杏林見聞録 保健学部 岡田洋二教授		キャンパス紹介 井の頭キャンパス・教務課 クラブ紹介 ぬいぐるみ病院部、陸上競技部
	外国語学部 日本語教育 わたしの書棚から		

医学部特集

良医への道 次の半世紀に向けて

杏林大学医学部は再来年、学部創設50周年を迎えます。

医学部は1970年春、定員60名でその歴史をスタートさせました。松田進勇初代理事長が掲げた、「豊かな人間性を持ち、人類に奉仕する良き医師を育成する」という教育方針のもと、先人たちが努力を積み重ね、発展を続けてきました。今では、4,000名を超える卒業生が医師として全国で活躍し、付属病院は地域の中核として人々の健康を守っています。

しかし、医学の世界も大きなうねりのなかにあります。iPSに代表される医療革新やAIの進化。医学教育でも国際化が求められ、本学医学部では今後の施設整備も大きな課題です。

次なる半世紀をどう迎えるのか。医学部では、これまでの歴史を礎に、今後の50年の飛躍に向けた準備がいま始まっています。今号は、こうしたテーマに加えて、海外での臨床実習やへき地医療の実習などに取り組む医学生の姿も交え、医学部を特集します。



白衣式。病院での臨床実習を前に行われる。一人ひとり、教員から白衣をかけてもらい、学生は医師への道を進む決意を新たにする。2年前から行っているこの白衣式は、臨床実習の充実を象徴するひとこまでもある

教育環境を整備 医学部キャンパスの将来構想策定へ



副理事長
まつだ たけあき
松田 剛明

はじめに

本学は2016年に創立50周年を迎え、周年事業として、八王子キャンパスの保健学部、総合政策学部、外国語学部を井の頭キャンパスへ全面移転しました。

医学部ならびに付属病院は、2020年に創立50周年となります。これからは医学部創立50周年に向けて、次の半世紀を見据えた医学部のある三鷹キャンパスのランドデザインを考える時期に来ています。

新校地活用し基本構想を

現在、三鷹キャンパスには、医学部講義棟、基礎・臨床医学研究棟、看護・医学教育研究棟、松田記念館（体育館）、そして医学図書館を含む医学資料情報センター（本部棟）があります。

敷地内には緑が多く存在しますが、創立者の遺言に「敷地内の木々は切ってはならぬ」との言葉が残されていますので、これらを維持しつつランドデザインを考えなくてはなりません。

その場合、既存の敷地のみで新たな施設に建て替えることは困難を極めるので、三鷹中等教育学校西側にある約1万3千平方メートルの国有地を取得しました。

この敷地には、体育館（仮称）と新医学部棟（仮称）を建設する予定です。その理由は、まず最も老朽化している松田記念館に代わって新しい体育館を建設することで、今の敷地に新たなスペースが生まれるから

です。玉突き的に順次、整備を図っていくことが可能になるわけです。

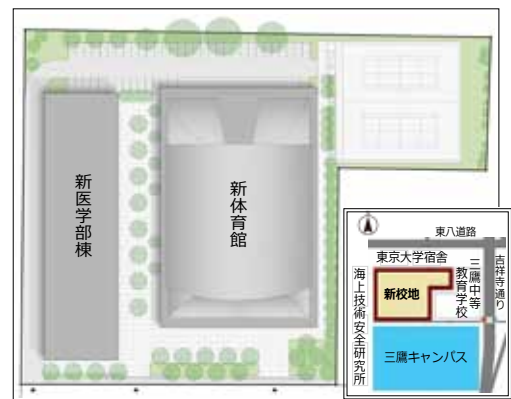
次に新医学部棟の建設ですが、これは3学部の移転が完了したことに加え、他大学の中に最新の設備を整えた医学部が出てきていることが主たる理由です。

医学部施設の早期の整備を要望する声は多くありましたが、井の頭キャンパス移転後の運営や経営の安定化を図った上での本計画は、理にかなったやり方であると考えております。

誇れる最新の医学部棟に

さて、新医学部棟の中身ですが、これはその後の三鷹キャンパス全体のランドデザインに直結するので、慎重に検討致します。

まずはこの秋に米国のハーバード大学、コロンビア大学、コーネル大学などの医学部の最新施設を視察する予定です。事前の調査では、これらの大学には最新の教室、講堂、図書館、シミュレーションラボ、研



新しい医学部棟と体育館の建設が計画されている新校地は、三鷹キャンパスの高度救命救急センターから道路を一つ隔てた北側に位置する

究棟などが整っております。これら全てを一度に収容することは出来ませんので、レイアウトについては視察後に検討する予定です。

また、建物の外観も素晴らしいデザインが施されています。勿論、全てを米国と同水準にすることは出来ませんが、医学部教職員や学生達が誇りに思えるものを目指します。

▶ 4面右下に続く 次の半世紀へのメッセージ

時代に対応 進化する杏林教育

発展を続けるには社会の変化に柔軟に対応することが求められます。

医学部では、良医の育成を継続・発展させるため、教育内容を一層充実させるとともに、杏林ならではの特色を明確に打ち出そうとさまざまな取り組みをスタートさせています。

患者に向き合う上で欠かせない臨床実習の充実やグローバル化に伴う医学英語教育の強化、学生に開かれた教室や医局の試みなど、「杏林教育」改革の動きを紹介します。

杏林の教育 臨床実習の充実

病院のベッドサイドでの教育が臨床実習です。

学生たちは、苦痛や不安、悩みなどをかかえる患者さんと、ここで初めて接します。誠実に接してその思いを汲み取ること、そしてそこで真摯に学ぶ姿勢を持ち続け、医師としての自覚を育んで行くのです。良医をめざす上で欠かせないプロセスです。

この臨床実習の期間が、来年度から大幅に増やされ、一層の充実が図られることになりました。

5年次から6年次にかけて41週行っていた臨床実習を66週に増やし、これに伴って4年次から開始されることになりました。

期間が増えるため、これまでのように医学部附属病院だけで実習を行うことは難しくなります。そのため、学生教育に協力してくれる外部の医療機関の協力も重要です。外部の医療機関での実習は、大学病院で経験することのできない地域医療の実態や、プライマリケアなどを学ぶ絶好の機会でもあります。

実習期間を単に増やすだけでなく、実習をいかに充実させるかが今後の課題です。

そのための方策の一つとして、今後は、従来の見学中心の実習から、診療チームの一員として診療活動に参加しつつ学ぶ、いわゆる診療参加型の実習に重点を置くこととなります。

より充実した実習を行うためには、教育に参加するスタッフの資質向上のための活動もさらに重要になってきます。

杏林の教育 データ分析で教育改善

本学では、以前から医学教育に関する情報を多角的に収集・分析して教育の改善につなげるIR(Institutional Research)※1に積極的に取り組んできました。

学生の成績に関するデータやカリキュラム、教育活動、さらに卒業後のキャリアに関するデータを収集・管理し、分析した上で、学部教育に反映させる取り組みもスタートしています。

具体的には6年生や、本学を卒業した研修医や医員を対象にした医学教育・カリキュラムに対する評価調査を収集・管理し、分析しています。こうして得た情報からも医学英語教育の強化が求められていることがわかりました。

※1 教育、経営、財務情報などの大学内部のさまざまなデータの入手や分析と管理、戦略計画の策定、大学の教育プログラムの点検などを意味する

※2 杏林大学および附属病院の職員、学生などが会員。2018年8月現在、会員は1,885名。医学・保健学・看護学とその関連分野の進歩向上を図ることを目的に活動。論文等を収めた杏林医学会誌の発行と研究発表などを行う総会を開催

スチューデント ドクター

白衣を終えた学生は、スチューデントドクターとして臨床実習に臨む。

同窓会から贈られた白衣には「KYORIN UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE Student Doctor」の文字が刺繍で施されている。ここには「良き医師」に育ってほしいという卒業生の願いが込められている。



学生の声 教育に反映

医学教育も国際基準に準拠した体制作りが求められています。その一つとして、今年度から学生の代表が、教育方針やカリキュラムなどを決める教務委員会などに正式に参加する制度が整えられました。

これまで、学生生活実態調査や授業アンケートで得た学生の意見や要望を、授業の改善や施設を整備する際の参考にしていました。新しい制度では、カリキュラムが学生にとって学びやすいものかどうかなど、学生から直接意見を聞きます。教育方



教育環境の整備も進めている。学生の要望もあり整備された臨床医学研究棟3階の学生自習室。全30席はパーティションで仕切られていて、集中して勉強ができる。基礎医学研究棟1階にも同様の設備を持つ60席の自習室が新たに設置された

法や教育内容について教員と学生が直接意見を交換する場として、医学教育の一層の充実に貢献するものと期待されています。

杏林の教育 医学英語教育の強化

医学英語は、1年次から4年次の必修科目です。学生を能力別に小グループに分けた演習型の講義をしています。さらに高度な英語を学びたい学生のために、5年次は選択科目を設定しています。

2017年からは、協定校のイギリスレスター大学で医学英語を学ぶ20日間のセミナーを行っています。今年は1年生から4年生まで20名が参加しました。参加者は、6年次のクリニカルクラークシップを海外で行うことを希望する学生が多く、実習準備の良い機会になっています。

また、今年度からネイティブスピーカーの生物学研究者が、英語で生物学の授業を行う試みも新たにスタートしています。

杏林の教育 学生の研究を支援

杏林医学会※2では、将来の医学研究の担い手となる学生の研究活動を、「学生リサーチ賞」「学生トラベルアワード」として、毎年表彰しています。

昨年の学生リサーチ賞は、1グループと個人が受賞しました。前者は、三鷹市の食育について調査。市民や学校、企業など地域と連携した「みたか食育ひろば」「学校給食への農産物の提供」など健康促進の取り組みが、三鷹市の平均寿命が、都内でも上位にあることに関係している、という考えを導きました。後者は、心臓血管外科学教室の教員の指導を受けて手術に関する論文をまとめました。



昨年行われた「地域と大学」の発表。「地域と大学」は、1年生の必修科目で、地元三鷹市の医療や福祉について自分たちが設定した課題を街に出て調査する。社会が医師・医療者に望んでいることを現場での体験を通して学ぶ

海外クリニカルクラークシップ

6年次に海外の病院で行う診療参加型臨床実習。医学生が診療チームの一員として参加し、指導医師のもとで一定範囲の医療行為を行うことで知識、技能、態度を修得する。期間は4～6月の4週間。

2018年度は18名の学生が延べ19の病院で実習に参加した。



Stony Brook University Hospitalの救急外来は教育制度が充実していて、毎週学生のための特別レクチャーがある



「杏林」由来の地、廬山を単独で訪れた相澤さん

学生レポート①

日米中の医療を比較できた病院実習

医学部医学科6年

あいざわ ようた
相澤 陽太

私は4月2日から6月1日にかけて、北京大学第一医院（中国）とStony Brook University Hospital（米国）で実習を行った。

実習で保険制度、救急外来の仕組み、医療レベルなど日本との違いを学んだ。

日本は国民皆保険制度、アメリカと中国は混合診療だ。アメリカはオバマケアの効果もあったが、なお1割の無保険者が存在する。中国では保険制度は住んでいる地域ごとに異なり、地域間の医療格差が大きな問題になっている。

アメリカでは救急外来は基本的に24時間（最長でも72時間）以内に状態を安定させ、他の診療科に引き継ぐか帰宅させる。とにかく患者の受け入れが最優先。中国では救急外来が人、人、人で溢れていた。

そして医療レベルの差。アメリカでは、救急隊は心肺停止の患者に心臓マッサージの機械を使い、電子カルテの記入も音声認識ソフトが導入されるなど機械化が進んでいた。中国は患者の多さに対応できていないと感じた。

日米中を比較することで良い点、問題点が一層浮き出してくる。海外実習は各国の医療事情を学ぶには極めて有用だ。海外で医師として働くことは容易ではない。しかし、

その場に立つだけでも様々なことを感じ、考えの幅が広がる。学生時代にこうしたことを経験することで、医師人生が大きく広がる、と私は考える。

さて、実習には番外編がある。「廬山の医師董奉は、貧しい患者からは治療代に代えて杏の苗を植えさせた。それがのちに鬱蒼と茂る杏の林になった」この良医を杏林という中国の故事が、杏林大学の由来だ。私は董奉を訪ね廬山へ行った。北京から寝台列車で一晩、バスに乗り換え、ようやく辿り着く。廬山の景色を前に己の小ささを感じ、廬山の滝への険しい山道はまるで「良医への道はそんなに楽なものじゃない」という董奉からのメッセージのようだった。中国からはシベリア鉄道で6泊7日でモスクワへ。格安のアエロフロートでアメリカ入りした。ものを考えるに十分な長旅だった。実習後は香港経由で帰国。香港は久しぶりの漢字溢れる世界。屋台で食した酢豚と野菜炒めはおいしかった。

いよいよ、残り半年で私の医道が始まる。激流の渦巻く現代世界の中で、杏林の言葉をしっかりと胸に刻み、良医を目指して歩いていこうと思う。

研究支援員制度

本学の女性研究者、または配偶者が大学等の研究者である男性研究者を対象とした支援制度。

本人または配偶者が育児中、あるいは家族の介護中などの理由で研究時間が十分に確保できない研究者に対して、その間、学部生・大学院生等を研究支援員として配置し、研究活動の継続を支援する。2018年度前期は、10名の研究者がこの制度を利用した。



感染症学教室の新倉講師に、データを確認してもらった松田さん。新倉講師は、「何でも興味を持って取り組んでくれるのでとても助かります」と松田さんの支援ぶりを評価している

学生レポート②

研究方法も学べるやりがいのある仕事

医学部医学科6年

まつだ りさ
松田 理紗

私は感染症学教室寄生虫学部門の新倉先生の研究支援員をしています。新倉先生の奥様も研究者で、現在育児中です。私が研究支援をすることで新倉先生が育児に専念する時間が増え、結果として奥様の研究に費やす時間を増やすことに貢献しています。

この業務につこうと思ったのは、在学中に何か一つのことをやり遂げたかったからです。研究支援員を募集していることは偶然知りました。女性が家庭と仕事を両立できるように、研究支援員として仕事の一部を手伝うことは、同性として非常にやりがいがあると感じました。

研究支援員を始めたのは2年生の春休みです。寄生虫学は未履修の時期で、先生の研究対象のマラリアも、基礎研究も未知の世界でした。実験の方法などは新倉先生に1から教えてもらいました。当初は実験手技を身につけるのに苦労しましたが、徐々に仕事に慣れていきました。新倉先生に「じゃあ、後はよろしくね!」と任せられるようになると、データを積み重ね、一つの結

果を導き出すことに面白さを感じるようになりました。

寄生虫学部門が主催する学会を手伝った際、多くの研究者の発表を聞き、私も本格的に研究に取り組んでみたくなりました。その思いを伝えると、新倉先生は熱心に指導してくださいました。新倉先生と協力して、一晩かけて3時間毎にサンプルの採取を行ったことは大変でしたが、非常に良い思い出です。これらの研究成果を杏林医学会で発表し、優秀賞と学生リサーチ賞を受賞することができました。最終的に、これらの研究成果は英医学誌『Malaria Journal』に掲載されました。

また、寄生虫学部門の共同研究先であるインドからの留学生と交流する中で、海外にも目を向けるようになりました。6年でのクリニカルクラークシップはイギリスで4週間の実習を行い、日本との医療の違いを体験しました。

研究支援員として働くことで得たさまざまな体験は、今後医師として働く私にとって、貴重な財産になると思います。

杏林の教育

開かれた教室・医局

医学部の各教室や医局では、学生が医学研究や臨床医学の現場にふれる機会を提供するべく、研究活動への参加や臨床検討会、読書会への参加を募っています。これを「自由参加プログラム」といいます(下表)。

医師、看護師、薬剤師にまじり小児科のカンファレンスに参加した学生は、「それぞれの立場からの発言を聞くことができ、教科書で学んだ病気や症状をより深く理解できた」と話しました。また、心臓血管外科では、医師から直接、外科手技の指導が

受けられるなど、学生は貴重な体験を積んでいます。

自由参加プログラム以外にも、セミナーや研究会、学術講演会などに学生を参加させて専門知識に触れたり、他大学の学生と交流を深める機会を提供している教室もあります。

学会発表のチャンスもあります。解剖学、病理学、公衆衛生学の各教室では、学生は教員から与えられた研究テーマで期間内に成果を出すことができれば、それをまとめて学会で発表することができ、すでに実績をあげています。

自由参加プログラム(教室/プログラム名)

内科学Ⅰ(腎臓・リウマチ膠原病)	イブニングカンファレンス
内科学Ⅲ(糖尿病・内分泌・代謝)	抄読会、カンファレンス
内科学(腫瘍科)	抄読会
精神神経科学	精神科医の一日
小児科学	自由参加プログラム
外科学(消化器・一般)	臨床見学プログラム
外科学(乳腺)	乳癌学習プログラム(臨床編)

救急医学	学生セッション発表プログラム
救急医学	JATEC 体験プログラム
心臓血管外科学	オーダーメイド型プログラム
皮膚科学	カンファレンス参加
小児外科学	カンファレンス参加プログラム
眼科学	抄読会のお誘い
産科婦人科学	腫瘍・病理・放射線カンファレンス
麻酔科学	シミュレーション作成プログラム
細胞生理学	神経疾患における神経生理学的研究
薬理学	トランスポーターを標的とした癌治療
病理学	甲状腺腫瘍性疾患における病理学的研究
感染症学	バイオフィルム形成菌の解析
衛生学公衆衛生学	脂肪組織をターゲットとした肥満・運動研究プログラム
化学	神経変性疾患の生理学的・生化学的研究



カンファレンスのようす

教授OBの知識を学生に
少人数で学ぶ臨床推論

今年度から新しい役割を担う特任教授が誕生しました。

定年でいったん退職した、専門領域のエキスパートである教授が少人数制の臨床医学の演習を担当します。

これまでは、教室での授業と5年次からの臨床実習の間を繋ぐ、いわば臨床準備教育は充分とはいえませんでした。そこで、教授OBの力を借り、実際の臨床実習を前に教室で臨床現場を体験させるのがねらいです。

今年度は、循環器内科、消化器内科、リウマチ膠原病内科の3人の特任教授が指導にあたっています。

学生たちは、病気については一定の知識はあるものの、症状からその病名を判断することにはまだ経験が不足していま

す。10人程度の小グループに分かれて行われる演習では、与えられた実際の症状から、自分で調べ、考え、どんな病気を判断し、患者の問題解決に向けてどのような検査や治療を行うべきかを報告します。そのうえで、教員や他の学生と議論を重ねて正しい病名や治療のありかたを推論していきます。

特任教授は、いずれも教育・研究・臨床の第一線で経験と実績を積んだ教授ばかりで、学生がこうした教員から、きめ細かく学ぶことにより、大きな教育効果が期待されます。

医学部は今後この取り組みを広げて、杏林の医学教育の特長の一つにしていく考えです。



「正確な診断を下すには一つひとつの知識が正確でなくてはいけない」。指導する吉野秀朗特任教授の言葉に聞き入る学生たち

へき地医療見学実習

学生公認団体「総合医療研究部」は7年前から福島県南会津町の館若愛輝診療所で見学実習を行っている。

今年は7月27日～29日の3日間、10人が参加し、現地で実習を行った。期間中、学生たちは診療所の業務を見学したほか、介護施設で介護の手伝いや清掃ボランティアに取り組み、へき地での高齢者医療や介護の現状について理解を深めた。



診療所では、診察が終わっても医師の熱心な指導が続く。医師を相手に血圧測定する林さん(左)

学生レポート③

学習への意識も変わった
へき地医療見学実習

医学部医学科4年

はやし あやか
林 彩香

へき地の医療と都市の医療はなぜ区別されるのか。その理由を知るために参加したこの実習も、今年で3度目となりました。

毎回学ぶことは多いのですが、学年が上がり、医学の知識が増えてくると、現場での一つひとつの事例を深く理解できるようになりました。

実習では、診療所の外来見学や所長の山田 仁先生の指導のもと心電図検査、聴診による血圧測定を行いました。「外来では何を見て、どう考えたかが大切」という山田先生の言葉のとおり、授業で学んだ医学の知識が臨床の場での考え方や判断材料になることがわかり、授業に対する意識が変わりました。

山田先生は患者さんのことをよく知っていて、それぞれの生活に即した治療・指導をしていました。医師の指導を受け入れて患者が実行するまでが治療で、そこには医師と



実習に参加した10人の学生と館若愛輝診療所長の山田仁先生(前列中央)

患者の信頼関係がある。先生の姿を見てよくわかりました。

介護老人保健施設も見学し、介護体験などもしました。

へき地では高齢化が一層進み、一人暮らしの高齢者が多いわりに、医療や介護を提供する人員が少ない。また、車中心社会のため病院や診療所に定期的に通うのが難しい人もいます。さらに、老人介護保健施設の役割が幅広くなりがちで現状と法律がそぐわない部分がある。私の住む東京と比較しながら、こうした地域では、高齢者の生活を支える体制や仕組みを考える必要があると思いました。

医学の勉強が進むにつれて医学知識ばかりに意識がいつてしまいます。しかし、この実習を通して、専門を超えた広い視野で、自分がどんな医師になりたいかを考えるようになりました。

医師をめざす君たちへ

医学に近道はない

6年間の長い医学生生活を支えるのは、コツコツ努力し、勉強する力です。これは昔から変わらないことです。

わからないことは本で調べる、大切なことは覚えるまで繰り返す。そうした地道な努力をしたものが、知識になります。

先進医療も同じです。毎日毎日地道な実験を繰り返して、そこからようやく一歩進むのです。スムーズな仕組みができて、コツコツやらずに済むようなことはありません。

良医育成のために

杏林大学医学部の変わらぬ教育方針は良医の育成です。私たちの考える良医とは、豊かな人間性を備え、的確な問

題解決能力と高いコミュニケーション能力を兼ね備えた医師のことで

問題解決に導く能力を育むために、自主的な研鑽を通して知的探究心を活性化し、深く考える能力を養います。

また、患者さんとの信頼関係を築き、現代のチーム医療にも欠かせない、コミュニケーション能力を、さまざまな人と関わる臨床実習や地域医療学習で培います。

私たちはこれらの素養を身につけた医師を養成します。



わたなべ たかし

医学部長 **渡邊 卓**

京都市生まれ。東京大学医学部卒業。脳外科医として手術経験を積み、手術では治らない、病気の根源を究明する必要を感じ、研究者に転身。1991年杏林大学着任。医学部臨床検査医学教授、付属病院臨床検査部長、2014年より医学部長



幼少よりピアノに親しみ、今年も医学部管弦楽団が開催する杏林大学病院コンサートにゲスト出演。好きなショパンやリストの曲を披露

卒業生 4,115人に



1970年に開設した杏林大学医学部。新入生は完成したばかりの八王子校舎で、まず進学課程（教養課程）に臨んだ。76年の第1回卒業式では、61名が卒業証書を手に学び舎から羽ばたいた。

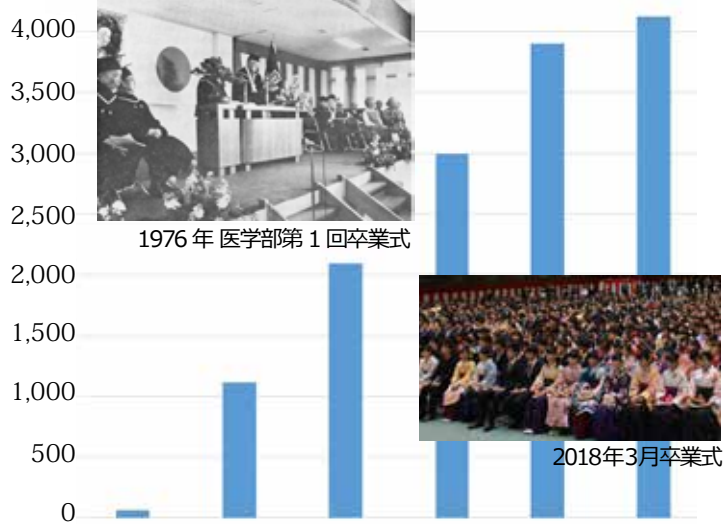
以来、卒業生は数を重ねて、その総数は4,115名にのぼっている。同窓会の支部は全国に35。多くの卒業生が医師として、患者さんと向き合う日々を送っている。他大学の教授として研究や教育、診療にあたる卒業生もいる。海外で高度な力量を磨いた卒業生、外務省の医務官として活躍する人たちもいる。その輪は国の内外に広がっている。



1976年 医学部第1回卒業式



2018年3月卒業式



卒業年	1976年	1986年	1996年	2006年	2016年	2018年
卒業生総数	61名	1,113名	2,092名	2,996名	3,894名	4,115名

“良医を实践”へき地医療貢献で全国表彰

なかむら ふみはる

医学部2期生 **中村 文春さん**

表彰を受けたのは杏林大学医学部2期生の中村文春さん（67）です。

島根県益田市の山あいにある匹見地区（旧匹見町）で、31年間にわたって地域住民の健康を守ってきました。匹見地区は益田市の中心部からおおよそ40キロ。東京23区の半分ほどの面積の96%までを森林が占め、一時は林業に携わる人たち8,000人で栄えました。しかし過疎化が進み、今では人口も1,100人ほどに減りました。

中村さんは医学部を卒業後、首都圏の病院などで勤務したあと、ふるさとにUターンしました。匹見地区で唯一の医院「中村医院」を父親から引き継ぐ一方、地区にある二つの診療所で、医師一人でへき地の地域医療を支えています。

中村さんが診療する患者は大半が80歳以上です。午前中は医院で、午後は診療所で、その間は往診や特別養護老人ホームにと多忙な毎日です。

こうした永年にわたる貢献は「昼夜・休日を問わず地域を奔走し、地域包括ケアシステムの礎を築いた」と高く評価され、全国自治体病院



開設者協議会などが選ぶ「2017年度へき地医療貢献者」として表彰されました。

中村さんは、「地域の方々のあたたかい心配りで続けてくることができました。往診の帰り道で熊に威嚇されたり、20匹以上の野生の猿に取り囲まれたこともありましたが、これもいい思い出です。私は学生時代に学長から教えられた“良医”になれという言葉は今でも忘れません。今後、専門医を目指す方も、私のような田舎の開業医になられる方も“患者ファースト”。常に相手の方の気持ちを思いやり、話をよく聞いて診療にあたってほしいと思います。生意気な言い方ですが、皆さん、それぞれ立派な良医になられることを期待しています」と話しています。

医師国家試験 合格率 96.4%

全体（既卒含む）

順位	学校名	合格率
1	自治医科大学	99.2%
2	横浜市立大学医学部	97.7%
3	兵庫医科大学	97.5%
4	順天堂大学医学部	96.9%
5	慶應義塾大学医学部	96.6%
6	東京医科大学	96.36%
7	杏林大学医学部	96.35%
8	東邦大学医学部	96.33%
9	金沢大学医薬保健学域	96.0%
9	浜松医科大学	96.0%

新卒者

順位	学校名	合格率
1	昭和大学医学部	100.0%
1	慶應義塾大学医学部	100.0%
3	自治医科大学	99.2%
4	大阪医科大学	99.1%
4	奈良県立医科大学	99.1%
6	杏林大学医学部	98.4%
7	岡山大学医学部	98.2%
8	福島県立医科大学	98.0%
9	横浜市立大学医学部	97.6%
9	順天堂大学医学部	97.6%

■ 国公立大
全医学部80校、私立医学部29校（データは厚生労働省ホームページから）

全医大中7位 新卒者は98.4%

今年2月に行われた第112回医師国家試験で、杏林大学は新卒者123名、既卒者14名の計137名が受験し132名が合格しました。今回の合格率は、既卒者を含む全体および新卒者いずれも過去最高でした。また、合格者総数でみても弘前大学に次いで、全医学部のなかで2位でした。

全国の医学部80校の平均合格率は90.1%（新卒者93.3%）、私立大学医学部29校の平均合格率は90.2%（新卒者92.8%）でした。

杏林大学は全国平均を大幅に上回って、全医学部中7位、私立医学部中6位でした。新卒者でみると全医学部中6位、私立医学部中5位の成績でした。

杏林大学ではここ数年、全体の合格率は80%台半ばが続いていましたが、学生たちの真摯な努力が今年の成果につながりました。

▶ 1面から続く

次の半世紀へのメッセージ

私は20年程前に東京大学の大学院で勉強させて頂きましたが、当時の図書館や研究棟はお世辞にも綺麗とは言えませんでした。特に図書館には冷房は無く扇風機が回っているのみで、夏は暑さに耐えて文献検索をしたことを思い出します。研究棟は明治時代の煉瓦造りの建物で、趣はあるものの耐震基準を満たしているかどうかはささか不安であり、地震がある度に外に飛び出していました。

しかし、そのような環境においても、指導教官や同僚達の熱意ある指導とプライドのもと、世界を相手にする仕事が出来ました。

私が言いたいことは、既存の環境に耐えるということではありません。本質は環境ではなく、我々の情熱とプライドということです。どんな環境においても、アップダウンがあっても諦めずに、この大学を良くし、この医学部を一番にするにはどうすべきか、ということをお考えし実行する闘志が重要です。それにより最新の施設が機能を発揮し、皆が輝くも



のと考えます。

私は自身のライフワークとして、これから10年をかけて三鷹キャンパス全体のランドデザインを具現化します。医学部教職員はもとより、関係の皆様には、本学医学部が次の半世紀に向けて益々発展するためのご協力をお願い致します。

まつだ たけあき
杏林学園副理事長。東京慈恵会医科大学卒業、東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。Harvard大学 Brigham and Women's Hospital 研究員、Cornell大学 New York Presbyterian Hospital 研究員。杏林大学救急医学教室教授。日本救急医学会指導医

卒業生リレー



事件解決に科学の力

やまもと やすひさ
山本 靖久

(保健学部臨床検査技術学科 1989 年卒)

埼玉県警察本部刑事部科学捜査研究所法医鑑定室長。臨床検査技師、医学博士

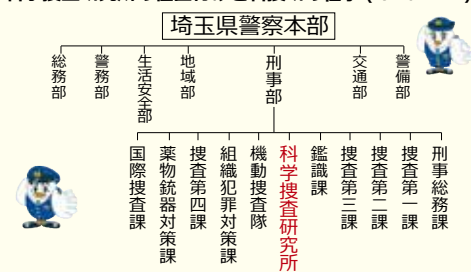
卒業後、埼玉県警科学捜査研究所の研究員として採用される。県警が 1994 年に捜査に DNA 型鑑定を導入したときから DNA 型鑑定に携わる。2005 年に埼玉医大で医学博士の学位を取得すると、当時の新聞で「科捜研の男 博士号取得」と紹介された

仕事は先端技術 DNA 型鑑定

私は埼玉県警察本部（さいたま市）の科学捜査研究所（科捜研）に勤務しています。科捜研と聞いて、女性法医研究員が活躍するテレビドラマを思い浮かべる人は多いと思います。私は法医鑑定室（法医分野）で DNA 型鑑定などを行っています。

科捜研での鑑定には DNA 型鑑定の他、筆跡鑑定、音声鑑定などあります。DNA 型鑑定は、事件、事故現場に残された血痕や体液、毛髪などから個人を識別できる鑑定法です。その精度は飛躍的に高まり、現在は 4.7 兆人に 1 人を識別できるまでになりました。時代の最先端に行く鑑定法として、困難を

科学捜査研究所の位置付けと科捜研の仕事（埼玉県警の例）



科学捜査研究所 科学捜査研究所は各都道府県警に付置し、科学捜査に關する鑑定及び検査に従事している

分野	科名	主な鑑定内容
生物系	法医鑑定室	
	法医第一科	DNA 型鑑定
	法医第二科	骨、歯、顔画像等鑑定
工学系	物理科	火災、交通事故、銃器、音声鑑定等
化学系	材料科学科	工業製品等鑑定
	乱用薬物科	規制薬物鑑定
人文系	毒物学	薬毒物等鑑定
	文書鑑定科	筆跡鑑定等
	心理科	ポリグラフ検査等

赤字の部分が山本さんの関係するところ

極める捜査には欠かせません。

一方で、わずかな資料の混入や取り違えが関係者の人生を大きく左右してしまう怖さもあります。資料の処理や一つひとつの鑑定を正確に行って、はじめて DNA 型鑑定結果の正確性が保たれるのです。

私のいる法医鑑定室には女性 4 名を含む、室長以下 23 名が在籍しています。様々な資料を DNA 型鑑定し、その結果を客観的な証拠として捜査員に提出します。

現在は室長として、自分の経験をもとに部下にアドバイスをしたり、法医分野の仕事全体を客観的に見たり、現場の捜査員等に、指導教養等（遺留品の扱い方や DNA 型鑑定での注意点の講義）をしています。

高倍率突破 憧れの科捜研へ

高校の生物で ABO 式血液型について学んだとき、遺伝形式や検査法に興味を持ちました。こういうことを大学で学びたいと思い、杏林大学保健学部に入學しました。

私たちの学生時代は、医学部の先生の講義もありました。なかでも法医学の佐藤喜宣先生の講義は私の人生を変えました。法医学を教わった時に、「鑑定」という仕事を知りました。科捜研は以前から知っていましたが、鑑定の分野で臨床検査技師が活躍できるとわかり、進路として考えるようになったのです。

法医鑑定室では最先端の技術を駆使した鑑定が行われている。右写真は、鑑定作業をしているところ。犯罪の現場に残された凶器や遺留品に付着しているものが、血液なのか唾液なのかといった体液種別やそれが人のものか動物のものかを鑑定する

科学捜査研究所の求人情報は、各都道府県警察のホームページで公開している



埼玉県警事務職員募集ガイドより

就職活動が始まり、学内の掲示板で埼玉県警科学捜査研究所職員募集の求人票を見つけたとすぐに応募しました。仕事をしていくうえで必要な知識には、私の苦手な免疫学もありましたが、約 50 倍の高倍率を突破し、科捜研に入ることができました。

経験積み DNA 型鑑定のプロに

1989 年に科捜研に採用されました。当時の法医鑑定は ABO 式血液型鑑定が主流でした。1993 年に科学警察研究所での研修を経て、DNA 型鑑定資格認定を取得しました。DNA 型鑑定に必要な資機材、施設を整え、埼玉県警は 1994 年から捜査に DNA 型鑑定を導入しました。

最先端の鑑定技術を駆使した仕事に私は大きなやりがいをもって臨んでいました。一方で、鑑定で疑問に思ったことを解明するための研究にも着手しましたが、自分で実験を組み立てられるまで相当時間がかかり、悔しい思いもしました。もちろん先輩が教えてくれますが、自分で実験を組み立てられた時の達成感はひとしおでした。鑑定方法も実験や研究と同様に一つではありません。A がダメなら B、C でと、いくつもの場面を想定してアプローチします。どんな仕事もそうですが、現場で一つひとつ経験を積むことが大事なのです。

忘れられない出来事

いま私の仕事上の喜びは、若い人が力をつけ、彼らの仕事が評価されることです。

彼らを見ていると、がむしゃらに仕事をしていて 20 数年前の自分と、ある仕事を思い浮かべることがあります。

それはとても悲惨な事件でした。諸事情により詳しくは話せませんが、私は現場に残された資料の鑑定を行い、鑑定結果を鑑定人として法廷で証言しました。私の証言が証拠の一つとして裁判所に認められ、被告人に有罪判決が下され、困難を極めた事件解決に役立たせることができました。ここまではよくある仕事ですが、証言を終えた私が廊下に出ると、さっきまで傍聴席にいた遺族の関係者と思われるご夫婦が私に向かって深々と頭をさげられたのです。鑑定の背後には人が生きていた証や残された人の想いなど様々なものがあると知った出来事でした。いまだに当時の情景がよみがえり、鑑定人人生の糧になっています。

世界をみよう

部下には、「世界をみなさい」といいます。欧米などではこの分野の最先端の研究が行われています。国際学会をはじめ、各種学会に足を運び、そうした研究にふれ、研究者の話を直接聞いてほしいと思っています。

仕事をしていると、学生時代の勉強や社会での経験、人とのつながりが様々な面で役立っていると感じます。ですから若い皆さんには、いろいろな世界（＝分野）をみてほしいと思います。そして好きなこと、関心のあることに、がむしゃらに向きあってほしいと思います。

杏林見聞録

第 11 回

にんにくを科学する

特に暑かった今年の夏。夏バテの疲労回復にはにんにくが良いとされています。にんにくに含まれるアリシンには様々な働きがありますが、その中のひとつ、アリシンの抗酸化について着目し、抗酸化のしくみ（抗酸化機構）の解明研究を行っている保健学部の岡田洋二教授にお話を聞きました。

おかだ ようじ
保健学部教授 **岡田 洋二**



杏林大学保健学部 卒業、杏林大学大学院保健学研究科博士前期課程 修了。保健学博士。天然由来抗酸化物質の探索及び反応機構に関する研究などを行う。日本酸化ストレス学会 日本食品化学会 日本機能性食品医学学会所属。2018 年 4 月より杏林大学入学センター長

にんにく研究のはじまり

人間が生命を維持するためには呼吸と酸化は必要不可欠な反応ですが、取り込んだ酸素は不適切な生活習慣などで“活性酸素”に変化することがあります。この活性酸素は酸化力が非常に強いので、体内で過剰に活性酸素が生成すると老化を早めたり、がんや動脈硬化の原因にもなります。活性酸素による酸化を防ぐ物質のことを抗酸化物質といいます。代表的なものにイソフラボンやカテキンなどがあります。

私は加工されていない成分（天然由来物質）の抗酸化機構解明研究を行っています。にんにくについての論文を調べていると、抗酸化機構の解明が進んでいないことに気づき、アリシン

の抗酸化機構に関する論文を初めて世に出しました。

医薬品としての“にんにく”

にんにくの臭いの主成分はアリシンで、この成分はにんにくが傷つかないと生成しません。

にんにくは切るなどして細胞が潰れると、細胞成分のアラインがにんにくに含まれる酵素と混ざり、アリシンに変化します。にんにくは外敵から身を守ろうとして刺激臭のアリシンを生成するのですが、そのアリシンには殺菌効果もあったのです。

昔からにんにくが医薬品として注目されたのは必然だったのです。現在では、このアリシンに降圧作用や抗高脂血症作用などの効用が認められ、様々な分野で研究が行われています。

臭いと戦いながら研究

実験のために多くのアリシンを用意しなければなりませんが、さほど安定した化合物ではないため、にんにくをすりおろして保管しておいても、アリシンはすぐに分解してしまうのです。そのため、実験用のアリシンを確保するのに苦労しました。

毎日、毎日 にんにくを擦っていると、あの独

長い長いにんにくと人類の歴史

紀元前 3750 年頃のものとするにんにく鱗茎の粘土模型がエジプトで発見されたり、ピラミッドを建設する労働者の体力回復のために与えられたりした「にんにく」。その殺菌作用などを利用して脚氣、風邪、虫さされなどの医薬品としても使われてきた。

スペインの建築家アントニオ・ガウディは、バルセロナの街の建築物を、にんにくの形をした屋根にリフォームして、街を華やかにした。

にんにくは遥か昔から、人々に活力と繁栄を与えるシンボルとして身近に存在していた。



学部・大学院トピックス 外国語学部

日本語教育を通じて異文化交流

外国語学部では、海外への留学や研修だけでなく、学内で留学生達と共に学んだり、交流することで、語学力を磨いたり、相互の国や文化についての理解を深めることができま

す。副専攻プログラムの「日本語教育」や留学生をサポートする「日本語学習パートナー」「日本語サロン」、海外での「日本語教育インターンシップ」などを紹介します。

プラスワンとしての副専攻プログラム

英語学科、中国語学科、観光交流文化学科の誰もが学べる6つの副専攻プログラム(下表)が2016年度に始まりました。学科のカリキュラムに加え、1年次から「プラスワン」として教養科目を体系的に学び、日本語教育や児童英語教育などの知識や技能を習得します。18単位以上の科目

を履修するなどの要件を満たすことで修了証が授与されます。

日本語教育では、「日本語学概論」「言語の歴史(日)」「日本語教育の実際Ⅰ・Ⅱ」など、30を超える科目があります。

「日本語教育実習Ⅰ」では、ショッピングや病院受診などの場面を想定した日本語会話の指導教案を作成し、実際に外国人への日本語指導を実践しました。



2018年度前期、「日本語教育実習Ⅰ」は18名の学生が履修。テキサスA&M大学等の学生17名に日本語指導を行った。本学とテキサスA&M大学の交流は2013年度に始まり、学生の相互受け入れをしている

副専攻プログラム

英語圏 グローバル教養	アジア圏 グローバル教養	観光交流文化 グローバル教養	日本語教育	多文化共生	児童英語教育
異文化コミュニケーション、グローバル社会と国際協力、地域圏研究Ⅳ(英国)、目的別英語演習Ⅰ ほか	アジアの文学・文化(中)、アジア・ホスピタリティ、地域圏研究Ⅱ(韓国)、中国文学Ⅰ ほか	異文化コミュニケーション、観光学入門、マーケティング入門、ホスピタリティ・コミュニケーション ほか	日本語学概論、言語の歴史(日)、日本語教育概論、日本文化論、日本語教育実習Ⅰ・Ⅱ ほか	日本文化演習Ⅰ(日英)、日本と世界の近現代史、宗教学、日本国憲法、観光交流文化特論Ⅲ ほか	児童英語教育論Ⅰ、英語教育演習Ⅰ、日本語教育特論Ⅲ、認知言語学、英米文学、心理学 ほか

海外日本語教育 インターンシップ

このインターンシップは、副専攻プログラム(日本語教育)を受講中の学生が実際に海外の日本語教育の現場を体験するプログラムです。学生は実習生として、現地で日本語授業を行う教師のアシスタントを務めます。

また、教案や教材を作成し、日本語を教える模擬授業を行ったり、英語による日本文化の紹介を行います。その他にもスピーチコンテストの練習のサポートなど、現地の学生の日本語学習の支援を行います。

日本語教育インターンシップ実習先と期間

実習先	期間
ニュージーランド アラインスティチュートオブカンタベリー	約3週間
アメリカ テキサスA&M大学	約2週間

日本語教師めざし奮闘中

英語学科4年 荻原 麻由 おぎはら まゆ

今年2月、テキサスA&M大学でインターンシップを行いました。同大で日本語を勉強する学生に行った模擬授業では、入念に準備をしていたはずが、思うように授業が進まず、教えることの難しさを改めて痛感しました。

この経験もふまえ、いま大学で留学生の日本語授業のティーチングアシスタントを行うなど、教える技術を磨いています。



医学部付属病院の麻酔科に在籍するマレーシアからの国費留学生カイラル医師(左)に日本語指導をすることになった荻原さん(右)。学習スケジュールの打ち合わせをする

学内で異文化交流 学習パートナーと日本語サロン

本学には、中国、韓国などのアジア圏を中心に80名ほどの留学生が在籍しています。また、毎年テキサスA&M大学などから学生を受け入れています。

こうした留学生と授業を共に受けたり、彼らをサポートする日本語学習パートナーになることで、異文化交流を体験することができます。

また、嵐 洋子准教授のゼミ生が中心となって運営する、在学生と留学生の交流の場「日本語サロン」は誰でも気軽に参加できます。

学内で異文化体験ができる絶好の機会になっています。

楽しみながら異文化交流

英語学科3年 三浦 義博 みうら よしひろ

日本語サロンは、多くの留学生や在学生が楽しめるよう、嵐ゼミの仲間と工夫して運営しています。

前期は、アメリカからの学生も参加し活気をみせました。日本語学習パートナーとして、留学生と街に出かけ、日本の文化や習慣を紹介するなど、喜んでもらえるやりがいを感じます。将来は、日本と諸外国の橋渡し役となる仕事に就きたいと思っています。



三浦さん(左)と学習パートナーのJohnさん

体験することで見えてくるもの

日本語教育プログラムの受講は、日本語教師を目指す学生が知識やスキルを養うだけでなく、異文化を理解し、自分の国や文化への見識を深めることにもつながります。学生には、教科書などから学ぶだけでなく、学内外で実際に異文化交流をしたり、日本語を教えるプログラムに参加するなど、積極的に「体験」してほしいと思っています。

例えば、海外の人に日本語や日本の文化を紹介すると、相手から思いもよらない質問をされ、今まで自分が気づかなかった発見や驚きがある

あらし ようこ
准教授 嵐 洋子 (専門:日本語教育学、日本語音声学)

ものです。こうした経験を重ねると、自国の言語や文化を客観的に見られるようになります。これは、他国の言語や文化を理解する上でもとても大切なことです。また、人前で教える練習を行ったり、相手にとって分かりやすい日本語の話し方を学ぶことは、プレゼンテーション力の向上にもつながります。これは会社に入っても、生かすことのできる能力です。

2016年度に開始したこのプログラムを修了する学生達が様々な「体験」を生かして、自分の可能性を広げられることを楽しみにしています。



ニュージーランドでの日本語教育インターンシップに参加した学生

わたしの書棚から

「私の一冊」「人生を変えた本」「私の読書法」など、教職員が自由なテーマで思い出の本を紹介。お薦めの一冊から読書の楽しさを実感してみませんか。

お薦めの一冊

医学部付属病院看護部長

みちまた ゆきひろ
道又 元裕

1998年の刊行以来、84刷を重ね、世界で2,800万人に読み継がれているロングセラー。それがスペンサー・ジョンソンの『チーズはどこへ消えた?』です。

著者は医師、心理学者で、心臓のペースメーカー開発にも携り、また、様々な大学や研究機関の顧問を務め、シンクタンクに参加する一方、さまざまな著作活動を行いました。

本書は、迷路の中に住んでいる、2匹のネズミと2人の小人がチーズを探しながら人生を追求していく物語です。

チーズが隠された迷路を舞台に2匹のネズミ「スニッフ」と「スカリー」、それに2人の小人「ヘム」と「ホー」がチーズを探

していきます。この2匹と2人は、私たちにある単純さと複雑さを象徴しています。チーズは私たちが人生で求めているもので、仕事、家族、お金、健康、他人から認められること、こころの安寧、趣味などを表しています。迷路はチーズを追い求める場所である地域社会や会社、或いは家庭などを示しています。

彼らは、迷路を彷徨いながらチーズを追い求めます。その過程での彼ら各々の選択・決断・対応などに深いメッセージが込められています。単純なストーリーで、誰もが気軽に短時間で読めますが、それ以上に、社会や身近な状況の変化を自分がどのように捉え、対応すべきかを多方面から学べる一冊です。

読書が苦手な方でも、簡単に楽しんで読める書籍としてお薦めです。

学びを変えた一冊

外国語学部准教授
地域交流推進室長

ふるもと やすゆき
古本 泰之

「東京の大学」という薄い理由で入学したものの、学びには真剣になれず、かといって授業外で武勇伝を作ることもなく、地味に3年生を迎えました。

そんな時に受けたある授業で紹介された本がパレン・L. スミス編、三村浩史監訳の『観光・リゾート開発の人類学—ホスト&ゲスト論でみる地域文化の対応』(勁草書房1991年)でした。この授業、エアコンのない教室という悪環境、内容も一般受けしないもので、いつも4~5人しか教室にはいませんでした。

しかし、この授業で語られた内容が妙に引っかかり実物を読んでみたところ、観光が地域社会に及ぼす影響が人類学の視点か

ら詳細に記述されていました。地域への観光の導入は「正・負」の二元論だけでは説明できない複雑な影響を生み出しますが、そこに所属ゼミが扱っていた観光地開発との繋がりが見えて、初めて「これ」という関心が自分の中で生まれたような気がしました。

このときから勉強することが少し楽しくなり、4年生になった頃には、「広島に帰って就職する」という方針が、「もう少し勉強するか」に切り替わり、戻れない道へと足を踏み入れることになりました。

今年の6月、原書の第2版の翻訳『ホスト・アンド・ゲスト—観光人類学とは何か』(ミネルヴァ書房)が刊行されました。全体で468頁の厚い本ですが、あのときと同じような暑さで仕事のやる気がそがれたときに読み直してみようかと思えます。

学部・大学院トピックス 総合政策学部

学際演習 政治、福祉政策、法律の視点から「子育て支援」を考える

総合政策学部は、異なる専門分野を持つ複数の教員による授業「学際演習」を開講しています。社会における課題は、ある分野の視点に限った検討では足りません。複数の分野にまたがる交錯した事象の中から問題を発見し、総合的な知見をもって取り組む必要があ

「子育て支援」現状と課題

演習は、政治、福祉政策、保健医療、法律の4分野を専門とする教員が企画しました。

子育てについて学生の多くは、両親の「家庭」内の役割分担、保育園の待機児童問題など「市町村」の問題と捉えています。しかし「孤育て」という言葉があるように、児童虐待や子どもの貧困問題も現代の大きな問題で、「国」や「地方」、「地域社会」の課題ともいえます。また、女性の社会進出には企業の支援が不可欠で、子どもを産み、育てやすい社会でなければ、少子高齢化が進みます。



これは労働人口の減少から生じる移民の受け入れ政策にもつながりうる課題です。

子育て支援を行う団体や医療関係者など専門家を講師に迎えた特別講義も行われ、学生は、様々な考えや視点にもふれました。

学生は、子育て支援の現状と課題をグループワークで調査・検討し、その結果を前期最後の講義で発表しました。

久松さんは、「支援家庭の両親と話をしたり、子どもの世話をしたりして、仕事と子育ての両立がどういふことか、イメージで

子育てインターンシップ

講義を通じて2年生の久松紗奈さん、野田主樹さん、佐藤結季菜さんが、スリール(株)企画の「ワーク&ライフ・インターン」に参加しました。同社は子育て支援が必要な家庭と学生をつないで、学生に仕事と子育て

の両立を体験させる取り組みをしています。

の両立を体験させる取り組みをしています。インターンシップ期間は4ヶ月。学生は月6回、2人1組で、保育園のお迎え、夕飯作り、入浴、宿題をみるなどして、親が帰宅するまでの時間を子どもと過ごします。

久松さんは、「支援家庭の両親と話をしたり、子どもの世話をしたりして、仕事と子育ての両立がどういふことか、イメージで

できるようになった」と話しました。野田さんは、「将来のために、奮闘中です。食事の準備や子どものあやし方も慣れてきて、やりがいを感じています」と充実ぶりを披露。

昨年から活動する佐藤さんは、人の役に立つことで、積極性や自信がついたと、自身の変化をあげました。インターンシップは、学生が学際演習で学んだことを、実体験とおして理解する場になりました。

子育て支援についてグループで検討した結果を発表する学生(右)



グループワークで学生の質問に答える北田講師

人生に生かす学際演習の学び

講師 北田 真理

「自分のされた子育てを振り返ること」からすべてが始まります。自分のこと、身近なことから徐々に関心を広げ、全体像を見渡す力を養うことが重要だと感じています。結婚するか、子どもを持つのか。どんな仕事に就き、生活をしたいのか。これから始まる人生の選択を前に、学際演習での学びを生かし、学生時代にやるべきこと、学ぶべきことを学生自身が改めて考える機会となれば嬉しく思います。

学部・大学院トピックス 保健学部

広がる海外研修

保健学部では、国際的な視野を持ち活躍できる人材を育てるために研修制度の充実・拡充を続けています。

従来よりカナダ・ランガラカレッジ、オーストラリア・クイーンズランド大学、イギリス・ブライトン大学、アメリカ・ボストン大学で研修をしていましたが、今年から南カリ

フォルニア大学(USC)の大学院生を受け入れ、来年は作業療法学科の2~3年生を対象に南カリフォルニア大学への研修プログラムが始まります。新しい海外研修プログラムの特長を中心に紹介します。

作業療法士をめざす 目米学生が相互研修

新しく始まるプログラムでは、南カリフォルニア大学大学院作業科学・作業療法学部(USC)の大学院生と本学作業療法学科の学生が短期の交換留学を行います。USCは作業療法学科の近藤知子教授の母校ということもあり、プログラム内容等は近藤教授が中心となり進めました。

学生は8泊10日で、USCの実習施設や授業を見学するほか、実際に作業療法士が働く施設などを訪問します。また、同じ目標をもって学ぶ同世代の学生、大学院生と行動を共にすることで、英語でコミュニケーションを深めます。

トップクラスの教育にふれる

USCはアメリカで作業療法を学ぶ大学としてトップクラスの教育が行われています。感覚統合療法は南カリフォルニア大学の



装着、適合について学ぶ義肢装具学実習。「作業療法は国により様々。学生には研修でたくさんの違いを発見してほしい」と話す近藤教授(右)

J.エアーズ博士により、「学習障害児(LD)」のための訓練プログラムとして開発されたもので、日本でも徐々に知られ始めている手法です。アメリカでの作業療法の現状や、本場の感覚統合・作業科学にふれることが出来ます。近藤教授は、「杏林の学生は、少し年上のUSC大学院生の学習内容や考え方に刺激を受けるに違いありません。

研修プログラムは、学生たちが、様々なことを吸収できる内容を考えています。また、海外研修に行くことが難しい学生たちは、USCの大学院生を受け入れた際に、積極的に交流してもらい、国による作業療法の違いや、国が違っても同じ想いで作業療法士を目指す仲間がいることを感じてほしい」と話しています。

保健学部独自の研修

研修先	主な内容
カナダ バンクーバー	2週間の語学研修。ランガラカレッジでの授業の他、病院等医療施設を見学。ボランティアをしながらカナダの保健・医療を学ぶ
オーストラリア クイーンズランド	9日間の理学療法分野を中心に学ぶ研修。医療現場の見学や体験を行い、オーストラリアの保健・医療について学ぶ
イギリス ブライトン	2週間の看護研修。ブライトン大学で看護学を中心とした講義を受ける。また、病院やホスピスを見学してイギリスの医療制度について理解を深める
アメリカ ボストン	9日間の診療放射線技術研修。リージス大学で講義を受けるほか、病院見学を行う。診療放射線技師から直接話を聞き、その業務について理解を深める
アメリカ 南カリフォルニア	8日間の作業療法研修。作業科学の講義のほか、施設訪問によるアメリカでの作業療法・感覚統合の現状を知る(予定)

海外研修参加者推移



平成30年度は前期のみ実績。27年度の参加者は9名だったが、29年度には63名に増加。今年度も昨年ペースを上回っている

在学生紹介

留学で積極的な自分に

わたなべ さゆ

外国語学部4年 渡辺 紗由

齋藤ゼミ。2017年度杏林大学特別表彰学生



クライストチャーチのアドベンチャーパークでニュージーランドの大自然を満喫(左端が渡辺さん)

私は、高校2年生のときに初めてオーストラリアに7ヶ月間留学しました。予想以上にホストファミリーと交流できたことで、もっと英語を学びたいと思いました。それで大学は、留学制度が充実していた杏林大学を選びました。

大学2年生の夏、交換留学生としてニュージーランドのアラ・インスティテュート・オブ・カンタベリー(Ara)に1年間留学しました。最初の半年は英語を集中的に勉強し、その後現地の学生と同じ授業を受け

ました。Araには様々な国の留学生がいて、多様な価値観にふれることができました。

Araの授業は、当たり前ですがディスカッションなど全て英語で行うのでとても大変でした。しかし、現地の友人やホストファミリーの支えがあって、途中で投げ出すことなく最後まで全力を尽くすことができました。

引っ込み思案で友達作りが少し苦手な私でしたが、Araの日本語学科で学んでいるニュージーランド人(写真右)と知り合ったことをきっかけに交友関係を広げること

ができました。

ホストファミリーとは、悩みや将来のことなどいろいろ話せる関係を築くことができました。私も彼らのように相手の話を親身になって聞ける雰囲気を作れるようになりたいと思いました。

4年生のいま、教育実習や卒業論文、就職活動、そして学生広報スタッフとして杏林大学の魅力を学外の人に伝える活動などに取り組んでいます。学生時代にしかできないことと思い、頑張っています。



金田一 教授の研究室から ②

金田一 秀穂 (きんだいちひでほ) : 1953年東京生まれ。東京外国語大学大学院修了。中国大連外語学院、米イェール大学、コロンビア大学などで日本語講師。1988年より杏林大学外国語学部で教鞭をとる

顔を覚える

人の顔が覚えられない。教師として失格である。学生の顔と名前が一致しない。学期の終わるころになっても、15人足らずのゼミ生の名前が出てこない。申し訳ない。

家の近くを歩いていて、ご近所に住んでいると思われる人が話しかけてくれるのだが、それが誰かわからない。ニコニコとおばさんが挨拶してくれるのだが、それはいつも行くクリーニング屋さんのおばさんであることが、クリーニング屋に行くと初めて気づく。人の記憶は場所と結び付いているので、その場から離れて道端で会うと、名前を知っているべき人なのか、会釈すればいいだけの人なのか、あるいは立ち止まっておしゃべりを少しでもしなければならぬ人なのか、まったく判断がつかない。

学校の廊下ですれ違っても、私はいつも教えている学生をスルーしてしまうらしい。そこで一計を案じて、心理学を応用した。教室で座る席を固定してもらうのだ。記憶と場を結びつけて、全体像として記録する。ゲシュタルトである。座っている席をなるべく動かないようにしてもらうと、窓際のあの辺にいる人とか、最後列の真ん

中辺にいる人とか、4・5回授業をしていると、少しわかるようになる。

なぜ顔が覚えられないのか。わたしはひどい人見知りだからなのだ。人の顔が見られないのだ。マナー本には、相手の目を見て話さない、などと書かれているけれど、そんな失礼なことではできないと思ってしまう。

サルの場合、相手の目を見るのは、敵対関係を示してしまう。人でも、ある種のグループの場合、目を合わせるの「ガンをつける」などと言われる。あるいは、特殊な好意を示してしまう。相手を威嚇しているとか、誤解をまねいてしまうとかが心配で、そんな気はサラサラないので、なるべく避けておきたい。面接などでは、目を落として、テーブルの上の紙きれなどを見ながらお話しすることになる。心理学や動物行動学は、決して無駄な学問知識ではないな、などと考えながら。



Club クラブ・サークル紹介

● めいぐるみ病院部 子どもたちの健康に真剣に向き合う 部員 55名

主な活動は年3回の三鷹市内の保育園実習と学内での勉強会です。

保育園では園児たちに「めいぐるみ病院」と「保健教育」を行っています。「めいぐるみ病院」は、めいぐるみを患者に見立てて、園児がその親役、私たちが医師役となって、客観的な視点で診察の流れを体験してもらうものです。病院への恐怖心を取り除くことが活動の目的です。「(園児が)怖がらずに通院できた」「実習を楽しみにしている」などの声が聞かれ、とてもやりがいを感じます。

「保健教育」は、風邪をひかないために自分でできることなどを、分かりやすく解説します。活動を通して保育士や園児たちから学ぶことも多く、医学を学ぶモチベーションの向上にも繋がっています。

勉強会では、医学部の先生方に講義や演



習をしていただくこともあります。今年度は小児救急をテーマに、一次救命処置やAED、気道に詰まった異物を取り除くハイムリック法などをトレーニングマネキンで練習しました。

極低出生体重児の親の会では、子どもを預かるボランティアを行いました。学内外の多くの方々に活動の場と協力をいただきながら、私たちにできることを精一杯行っています。(部長/医学部4年 佐藤 桃子)

● 陸上競技部 目指すは箱根の予選会 部員 37名

陸上競技には競走(短中・長距離、リレー、ロード等)、跳躍(走高跳、棒高跳等)、投てき(ハンマー投、やり投げ等)、混成(十種競技等)があります。私たちは、競走を専門に練習しています。

晴れの日、井の頭恩賜公園の競技場で短距離と中・長距離に分かれてスタートやインターバルトレーニングなどをします。雨の日には井の頭キャンパスのトレーニングルームで筋トレをしています。

陸上競技部のモットーは、勉強・部活・プライベートの三立。試験、試合、オフをうまく切り替え、充実した大学生活を送っています。

全関東医歯薬獣医科大学対抗陸上競技大会、関東医科大学対抗陸上競技大会(関東医科)、三鷹市民駅伝大会などに出場しています。三鷹市民駅伝大会は2016年に男子



7位、女子2位、2017年は男子5位、女子3位でした。来年こそ、と皆意気込んでいます。

9月に行われる関東医科大会は、本学が主管校を務めます。大会運営に携わる責任の重さを感じているところですが、競技でも全力を出し切りしたいと思います。

今後も各大会の上位入賞、中・長距離では箱根駅伝の予選会を見据えて奮励努力していきます。(主将/保健学部3年 藤原 利章)

第61回東日本医科学生総合体育大会が8/1-17に開催されました。本学は準硬式野球、テニス、ソフトテニス、卓球、バレーボール、バドミントン、サッカー、バスケットボール、柔道、剣道、水泳、ボート、ハンドボール、ゴルフの各競技に出場。主な結果は、卓球男子団体ベスト16、バドミントン男子団体ベスト16、柔道団体ベスト16、剣道男子団体ベスト8・女子ベスト16、ボート女子ダブルスカル3位、ゴルフ男子団体6位などでした。

健康ひとくちメモ ②

全身麻酔の手術と口腔ケア



杏林大学医学部附属病院では、全身麻酔を受ける全ての患者さん(緊急を除く)の口腔内をチェックします。全身麻酔では呼吸に必要なチューブを口から気管内に挿入します。そのため、口腔内の状態が良好であれば、肺炎などの術後合併症が減少し、術後の回復が促進されるからです。また、これにより早期の退院・社会復帰が実現すれば、患者さんの安全を損なうことなく医療費を削減することができ、社会的にも大きな貢献となります。

まず患者さんには、全身の検査を受けたあとに、周術期管理センターを受診していただきます。麻酔科医の診察や看護師の面談などがあり、それぞれの患者さん固有の情報をまとめて全身の状態を把握します。その際に、口腔内も検査します。具体的には、不適合な義歯を装着していないか、抜ける直前のグラグラの歯がないか、過度に乾燥していないか等を確認します。また、長期にわたりステロイド薬や抗がん剤を投与されている方は、口腔粘膜炎や乾燥により口腔環境が悪化し、合併症が引き起こされるリスクも上がるため、患者さんの状態をさらにしっかり

と確認します。

このような患者さんへは、手術直前まで口腔環境を改善させるための清掃方法や潤いの与え方などを指導します。グラグラの歯が存在していると気管内挿管時に脱落する危険性があるので、手術前に抜歯を行うこともあります。

さらに、長時間の手術のあとや術後に絶食期間がある場合は、口腔細菌の量が増加します。意外に思われるかもしれませんが、口から食物を採らないと口腔内環境は逆に悪くなります。このような場合も、口腔粘膜を刺激したり、保湿したりして唾液分泌を促して細菌の量を減らします。患者さんが早期に回復するためには、口腔ケアの介入が必要なのです。

全身麻酔下の手術を受けられる方は、口腔内環境を普段以上に整えることが重要です。

(池田 哲也 : 杏林大学医学部耳鼻咽喉科学・講師)

いけだ てつや

日本歯科大学卒業。杏林大学 歯科専攻医、助手などを経て現職



キャンパス紹介

井の頭キャンパス 教務課

【主な業務】

入学式、卒業式、時間割作成、シラバス作成、各種単位認定、学期始めのガイダンスや履修登録の説明、履修科目の相談、成績管理、各種証明書発行、定期試験等試験日程作成、補講・振替授業対応、進級等が危ぶまれる学生への対応、大学院進学希望者への対応、卒業生支援など



履修に関する相談は教務課へ

教務課は、保健学部、総合政策学部、外国語学部と大学院保健学研究科、国際協力研究科そして教職課程に担当職員を配置しています。学生・院生一人ひとりの声に耳を傾け対応したり、授業がスムーズに行われるよう、教員と協力して業務を行っています。

年に2回、4月と9月に学生は履修登録を行います。必修科目と自由に選べる選択科目が多岐に渡り、複雑に感じるかもしれません。登録前に実施している教務ガイダンスや授業概要が記載され

たシラバスを参考に、学びを深められるような授業を選択してください。それでも履修計画に迷ったら、登録期間中に行っている履修相談会を活用してください。進級・卒業要件の確認なども行っています。

必修科目と選択科目を組み合わせ、4年間の学習計画を自身で立てることも、大学で学ぶ大きな意味です。このほか、教員や学生支援部門と連携し有意義な学生生活を送れるよう教務課員が丸ごとになって皆さんをサポートしています。

教務課で単位の見直しをしたことで、留学期間を終了し卒業できたとき、留学期間を終了し卒業できなかったとき、卒業式の晴れやかな姿を見るとき、退学相談に来た学生が、その後楽しく学べる姿を見るとき

あひやすうへい 統合生理学教室の有安 諒平さん バラ・ボート世界大会代表に

大学院医学研究科生で大学職員の有安諒平さんが、9月4日からブルガリアで開催される2018 World Rowing Championshipsの日本代表選手に選ばれました。

有安さんはパラリンピック東京大会ボート競技の部で代表入りをめざしています。

編集を終えて

・今夏は猛暑や災害で気懸かりが多い日々でしたが、キャンパスには多くの高校生に来ていただくことができました。北京から寝台列車とバスを乗り継いで、ついに嵐山まで行ってしまった相澤陽太さんの行動力に感銘を受けました。1980年代半ば、ご縁をいただいて初めて当時の八王子校舎を訪れた時、大先輩の先生から「杏林は20年間楳音の途絶えることなく発展を続けている」と教えられました。振り返ればその後の30年も。そして次の50年も楳音の音を響かせていくことでしょうか。(有)

・今号は医学部の特集です。教育改革の試みや将来計画の一端などを多角的にご紹介しました。学生たちのレポートも印象的でした。一人ひとりにたくましさを感じます。病の床にある患者は、医師のひとことに一喜一憂します。学部長の言葉にもあるように、「コツコツ地道に」という原点を大切に、思いやりのある良医をめざして欲しいと思います。(鳥)

・今年の夏は本当に暑く、デスクの上の温度計が33℃を表示したときは目を疑いました。そんな中で、夏の甲子園高校野球、アジア大会、MLBの大谷選手、全米テニスの大坂選手など日本のアスリートたちの活躍に目が離せない日々が続きました。そして、いよいよ東京新大学野球連盟1部秋季リーグ開幕。頑張れ、杏林大! (酒)

大学行事・イベント (2018年9月～2019年3月) ※予定

- 9月13日(木) 卒業式・学位記授与式(秋)
- 9月15日(土) 入学式(秋)
- 9月19日(水) 授業開始
- 10月6日(土)、7日(日) 杏園祭
- 11月11日(日) 創立記念日
- 12月28日(金)～1月4日(金) 冬季休暇
- 1月21日(月) 授業終了
- 1月22日(火)～1月31日(木) 定期試験期間
- 3月17日(日) 卒業式

*学部により授業開始・終了、定期試験、冬季休暇など異なります